

## 農林水産事業からのお知らせ - その95 -

広島県の酪農家の皆様へ

このコーナーでは日本政策金融公庫から、酪農家の皆様の経営に役立つ情報を提供して参ります

### TOPIC 酪農場における牛白血病ウイルス伝播のリスク要因と防止対策

公庫では、農業の最新技術を研究してきた「テクニカルアドバイザー」が、酪農や稲作など、各農業分野の最新技術情報を「技術の窓」としてまとめ、皆様にご紹介する活動も行っています。

牛白血病は平成10年より届出伝染病として発生報告が義務づけられ、近年、その発生報告数は増加の一途をたどっており、そのほとんどが牛白血病ウイルス感染による地方病性牛白血病です。牛白血病ウイルスは牛のリンパ球に感染するため、感染牛の血液、乳汁が感染源となり、感染血液が付着した器具や吸血昆虫などから水平伝播します。北海道立総合研究機構畜産試験場は、道内の酪農場における牛白血病ウイルス伝播のリスク要因を明らかにし、農場内のウイルス陽性牛を増加させないウイルス伝播防止対策を提示しましたので紹介します。

#### ☆技術の概要

1. 搾乳牛を群飼育している酪農場では、血中ウイルス量が高い牛(ハイリスク牛)や夏季舎飼い時の吸血昆虫などが牛白血病ウイルス伝播リスクの要因と考えられました。
2. ハイリスク牛割合が高い農場では、ハイリスク牛の優先的淘汰により、ウイルス陽性率が減少しました(図1)。
3. 牛白血病が発生した農場ではウイルス陽性牛を把握し、ハイリスク牛の優先的淘汰を進め、夏季に牛舎内で吸血昆虫の活動が活発な農場では、防虫ネット設置などの対策がウイルス陽転率の低減に有効です(図2)。

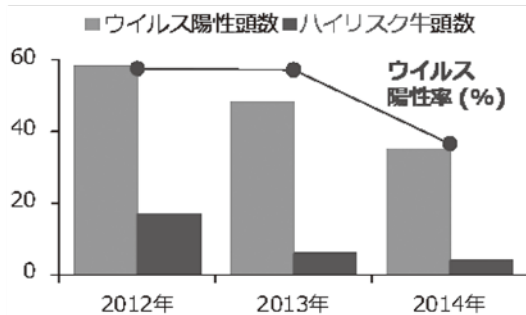


図1 ハイリスク牛の優先的淘汰によるウイルス伝播防止効果

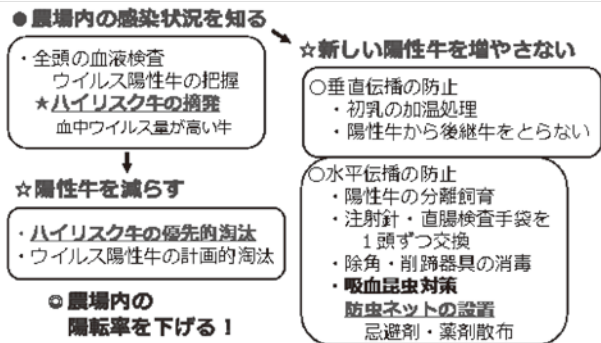


図2 酪農場における牛白血病ウイルス伝播防止対策

#### ☆活用上での留意点

牛白血病ウイルス陽性の酪農場でウイルス伝播防止対策として活用できます。

詳しくは、北海道立総合研究機構 畜産試験場家畜衛生グループ(TEL0156-64-0615)にお問い合わせください。

(日本政策金融公庫農林水産事業本部 テクニカルアドバイザー 加茂幹男)

※詳細については、農林水産省のホームページをご参照ください。  
⇒ [http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito\\_nouchi.html](http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito_nouchi.html)

### (株)日本政策金融公庫 広島支店 農林水産事業

所在地: 〒730-0031 広島市中区紙屋町1-2-22 広島トランヴェールビルディング6階  
TEL:082-249-9152 FAX:082-249-9102

○相談窓口も以下の場所で開催しております。

三次相談窓口(7月は5日と19日)

場所:三次農業協同組合本店

庄原相談窓口(7月は6日と20日)

場所:庄原農業協同組合本店

福山相談窓口(7月は14日)

場所:日本政策金融公庫福山支店

※予約制で開催しております。ご来店の際は事前にご連絡をお願いいたします。



# 検定成績表“新たな表示が追加!?”

6月からの検定成績表に、推定体重、推定乾物摂取量、推定飼料効率等が新たに記載されます。今回はこの中から、推定体重の記載に関して紹介します。

## 1. 体重とは?

みなさんは、ご自分の牛の体重をご存知ですか？牛群検定では、体重計または体重推定尺(巻尺による胸囲からの推定)を用いて報告することとなっています。しかし、近年、多頭化が進み、個々に体重を測定できない現状にあります。酪農家で自身も、ご自分の牛の体重を承知していない方が増えてきているようです。体重は今も昔も変わらずに重要な検定項目です。なぜなら、牛の食べる飼料の量(乾物摂取量DMI)は、泌乳量、体重等で決定します。これらの検定項目が揃わなければ、本来、正確な飼料設計を行うことはできません。

## 2. 推定体重とは?

前述のとおり体重を測定できない場合、農家でも飼料会社の方でも飼料設計を行う際には、経験と勘による目測で体重を判定していることが多いようです。そこで、牛群検定において、検定成績を利用して推定したものが推定体重です。検定成績としては、産次、年齢、分娩後日数、ボディコンディションスコア、乳量、乳成分、濃厚飼料給与量、血統などから推定しています。図に例を示しました。細い一回り小さい文字で表記されているものが推定体重です。太いしっかりした字体で表記されているものは従来から表記

## 推定体重の表示

牛コード	分		娩		搾乳は乾日数	濃厚飼料給与量(kg)	直近体重(kg)	BC管理	スコア	飛
	年月日	産次	産子性別	難易						
0276	280331	5	♀	2	342	160	710	300	2	3
0277	281225	5	♀	1	73	170	660	300	2	3
0278	280309	4	♂	2	364	180	730	275	3	3
0285	280722	4	♂	2	229	160	685	300	2	2
0291	290204	4	♀	1	32	170	680	300	2	2
0294	281011	3	♀	1	148	190	674	300	2	2
0296	281205	3	♀	1	93	170	590	300	2	2
0298	290109	3	♂	2	58	190	646	300	2	2
0300	280404	2	♂	2	338	160	690	300	2	2
0301	280511	2	♂	2	301	150	660	275	2	2
0303	280507	1	♂	3	305	130	620	300	2	2
0304	280510	1	死産	2	302	150	630	300	2	3
0305	280727	1	死産	2	224	160	610	300	2	3
0306	281118	1	♀	2	110	140	590	300+	2	2
0307	290121	1	死産	2	46	140	570	325	2	2
5072	未経産		1-10		687					

細い字体  
推定体重計、ボディコンディションスコア等を元に推定  
太い字体  
体重計または推定尺による値  
高産次の牛で推定体重が軽めの際は実測してください

されているもので、体重計または推定尺による体重になります。

注意点としまして、ボディコンディションスコアの測定が必須であることがあげられます。ボディコンディションは、誰でも判定できるように見本写真をパンフやポスター、ホームページなどにより当団から配付しています。まだ、報告されていない場合は決して難しいものではありませんので、これを機会に是非報告するようにしてください。

## 3. 推定体重の活用

推定体重は、人で例えてみれば、毎日の食生活や運動量を聞き取りして、そこから体重を割り出しているようなものですから当然誤差を含みます。特に大きな牛の体重が軽めに推定されてしまうことがあります。大きな牛は一般には沢山食べて泌乳量も沢山出るとされていますが、実際には沢山食べてはいるものの、泌乳量は大したことがないというケースも多々あります。推定体重は、大きな牛がそれに見合った泌乳量を搾れていない場合に、どうしても体重を実際より軽めに推定してしまう傾向があります。検定成績表を見て、もし、実際より軽く体重が推定されている場合は体重に見合った泌乳量となっていない、すなわち飼料効率の悪い牛であることが多いようです。原因は、周産期病や遺伝的なものなどいろいろと考えられますので、改善を図るひとつの目安となります。

## 4. 体重測定

軽めの体重が改善の目安になるとは言え、体重の誤差であることに違いはありません。前述のような時は、一乳期に一度、実際に体重を測定するようにしてください。推定体重を計算するシステムでは、実際に体重が測定された場合は、その測定された体重を基準にして計算されるようになっていきます。仮にその後に体重測定が行われなくとも、大幅に誤差が改善されます。

このように、推定体重は、これまでの体重測定を否定するものではありません。むしろ、これまでの体重測定を補足し拡充するのが推定体重であるともいうことができます。

## 5. 体重情報の応用

実測した体重および推定体重は、冒頭に記したように推定乾物摂取量や推定飼料効率といった新しい情報の元となるものです。これらの利活用については、次の機会での紹介を予定しています。

詳細は岡山種雄牛センター(電話 0868-57-2475) 四宮、安積までお問い合わせください。